

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第42号

2012年1月19日

☎: 3605-5594

<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

ai.kenwa.or.jp/

大震災と原発事故からの復興を求め

「谷中七福神」めぐり 56名参加

昨年は東日本大震災と福島原発の放射能汚染という未曾有の出来事があった年でした。

今年はみなさんが平穏な年となるようお願い、谷中七福神めぐりの参加者が56名の大人数となりました。かばら支部も昨年の8名を上回る12名が参加しました。



1月4日、綾瀬駅で3人と待ち合わせ北千住駅に行き改札内で辰沼地域の健康班の5人と合流、その後北千住駅に集合した人が改札内に入ってきました。そこで新たに4人と合流して合計12名となりました。

西日暮里駅経由で田端駅まで行き、最初に訪ねたのが東覚寺の「福祿寿」でした。七福神めぐりは遠く室町時代に七難をさけて七福を得るということから庶民のお正月の行事となったそうです。人間の七福とは寿命、有福、人望、清廉、愛敬、威光、大量を七人神に結びつけ上から寿老人、大黒天、福祿寿、恵比須、弁財天、毘沙門天、布袋の神さまをお参りして福を得ようとなりました。

東覚寺の門前には赤紙を体中に

貼った「赤紙仁王像」がありました。赤紙(悪魔を消除する火の色)を患部と同じ箇所貼って、病気の身代わりを祈願するという信仰だそうです。

次に西日暮里駅近くの青雲寺の「恵比須」です。境内には滝沢馬琴の筆塚がありました。つづいて隣の修正院の「布袋尊」ここではお堂の中に入らないといけません。境内は花見寺と言われ季節



季節の花があるようでした。

次は有名な「夕やけどんだん」の階段に行きましたがみなさん周りのお店に引つ張られ隊列がバラバラになってしまいました。

谷中霊園を横切り天王寺の「毘沙門天」に到着。ここで小休止して集合写真をとりました。講堂の外廊下にみなさん座り込んでしまい横に長くなりすぎカメラに収まらず苦労しての撮影でした。

次は墓地を少し歩いた長安寺の「寿老人」、

長生きしたいからお賽銭を奮発しようかという話し声が聞こえます。寿老人像は徳川家康が納めたそうです。次は15分ほど歩いた上野の東京芸大わきの護国寺の「大黒天」です。

最後は上野動物園の間の道を抜け



て不忍池の弁天堂の「弁財天」です。芸能の神様で多くの人に信仰されてきたようです。天井から竜が参拝者を見守っています。

かばらグループは今日の出会いを大切に記念写真を取り、近くの北京料理店で自己紹介や友の会のお話などして交流を深めました。

担当 渡辺 政次

新年明けましておめでとうございます

今年も蒲原グループの職員と友の会かばら支部の役員及び会員が絆を大切にし、力を合わせ、住みよい街づくりのために奮闘しましょう

蒲原診療所グループ職員一同
健康友の会かばら支部役員一同

